

ソフトバンク株式会社

IBM Cloud/Watson 設定ガイド

2022年 改訂版

 SoftBank

ソフトバンクは、お客さまのプライバシーを 最優先に考えます

パーソナルデータの活用は、今日の社会において
あらたな価値の創造や技術発展の原動力となっています。

私たちソフトバンクは、セキュリティ対策や社内データ管理体制の強化に取り組み
専門家の活用やパートナー企業との連携強化を行うなど
お客さまのプライバシー保護に努めてまいります。

ソフトバンク株式会社

1. IBM IDの作成

2. サブスクリプションの有効化

3. ユーザー追加

- - 管理者セットアップ
- - 利用者セットアップ

4. 利用料金の確認

5. 通知メールのご案内

本資料に関する注意事項

IBM Cloudは継続的にユーザーインターフェースの改善が行われているため、本資料に掲載の手順や画面構成が実際のもとは異なる可能性があります。ご了承ください。

- ここではIBM Cloudをご利用いただくために必要な、IBM IDの作成方法をご案内致します。
- 一社で複数のサブスクリプションをご利用いただく場合は、登録内容に特別な制約がありますのでご注意ください。
- 既にIBM IDをお持ちの場合は、「サブスクリプションの有効化」ページにお進みください。

ご利用までの流れ

IBM IDの作成

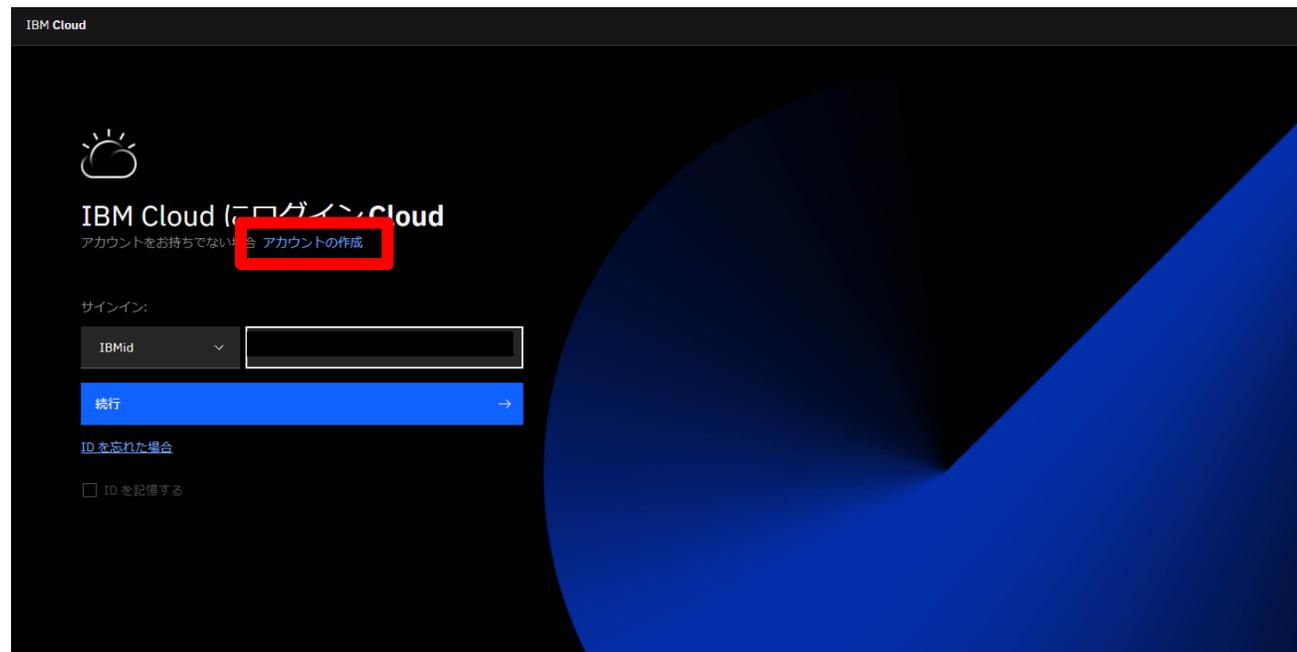
サブスクリプション
の有効化

ユーザー追加

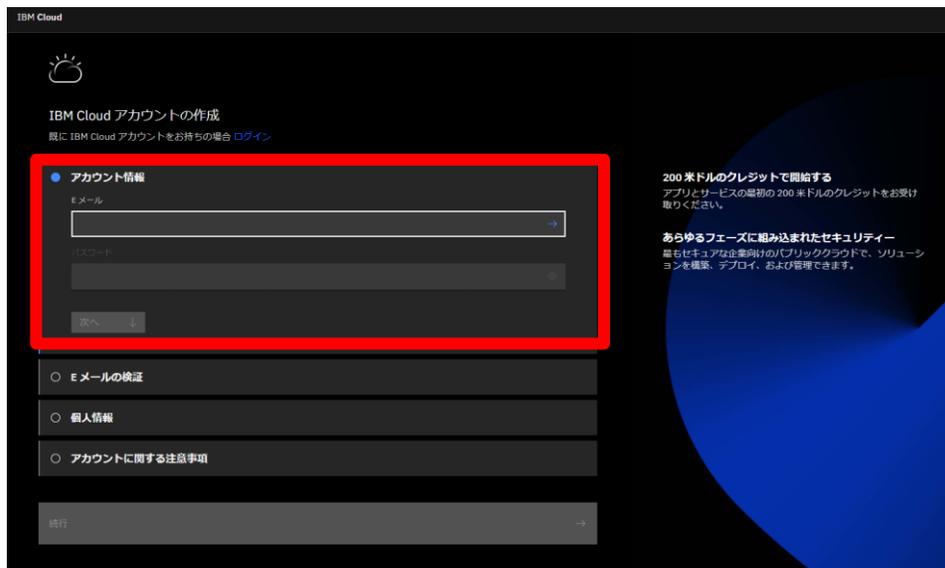
(1) 下記URLよりIBM Cloudへアクセスします

URL : <https://cloud.ibm.com/>

(2) 「IBM Cloudアカウントの作成」を押下し、必要事項を入力します



※氏名で使用できる文字に制限があります。IBM ID作成の際にご注意ください。



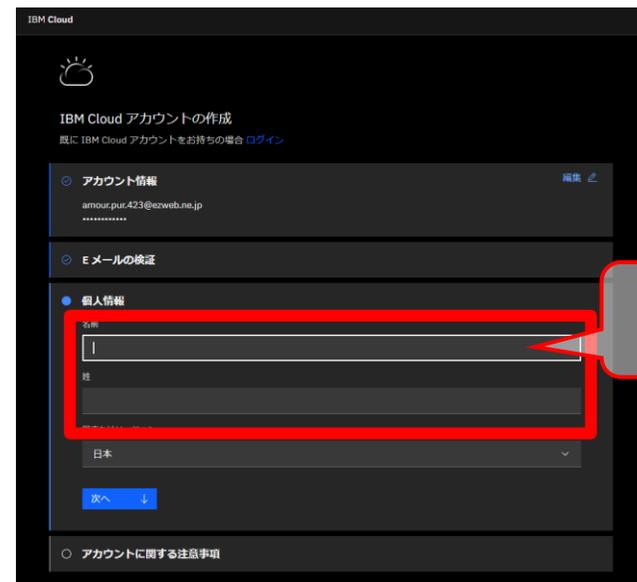
■ IBM ID作成時の利用可能な文字一覧

項目	使用できる文字	禁則文字
名前、姓 (ユーザ名)	全角ひらがな・カタカナ・漢字、スペース「 」、 ダッシュ「-」、ピリオド「.」、コンマ「,」、アポストロフィ「'」	左記以外の文字 ※特に数字(0~9)は 半角・全角問わず利用不可

下記の条件ではIBM IDの登録ができませんのでご注意ください。

■登録不可のケース

- ・ 企業名 + 同一の姓名の組み合わせ
(管理者IDのみ)
- ・ 同一のEメールアドレス



初回契約

項番	メールアドレス (ID)	姓	名	可否	補足
1契約目	sales@softbank.co.jp	鈴木	一郎		

2契約目以降

項番	メールアドレス (ID)	姓	名	可否	補足
①	ope@softbank.co.jp	鈴木	次郎	OK	メールアドレス、姓名共に異なる
②	sales@softbank.co.jp	鈴木	次郎	NG	1契約目と姓名は異なるが、メールアドレスが重複
③	ope@softbank.co.jp	鈴木	一郎	NG	1契約目とメールアドレスは異なるが姓名が重複

- ご購入のIBM Cloudサブスクリプションを有効にする手順をご案内します。
- こちらの手順を実施しないとサブスクリプションの利用が開始されませんのでご注意ください。
- 本手順の実施有無によらず、契約はお申込みに記載の開通希望日に基づき開始されます。

ご利用までの流れ

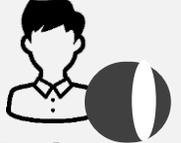
IBM IDの作成

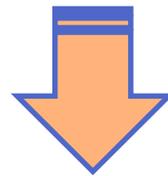
サブスクリプション
の有効化

ユーザー追加

2ステップで使用開始

1 Feature Codeメール受信 

2 Feature Codeの入力 
Activation



IBM Cloud 使用開始

※Feature Codeとは、IBM Cloudを利用開始するために必要なライセンスコードです。

開通日にFeature Code案内メールが届きます



宛先：IBM IDメールアドレス、サイト担当者

送信元：The IBM Cloud Team <no-reply@bluemix.net>

件名：Action required: Complete your IBM Cloud subscription order

メールサンプル

IBM Cloud

Next Step: Add your subscription to an account

Hi [Name], Thanks for purchasing an IBM Cloud subscription. Your purchase order number is [Number]. To complete your order, add your subscription to an account.

[Add subscription](#)

Subscriptions can't be removed from an account after they are added, so it's important that you choose the correct account. Need help? [Contact IBM sales](#)

Platform subscription
\$1330 JPY
Duration: 6 Months
Valid From: August 6, 2021 - February 6, 2022

オーダーいただいた月額利用量、契約月数が明記されます

Or, manually apply your subscription code

Copy this code and apply it to an account on the [Account settings](#) page.

67938c7bfa4066b7e11dce0d3d071514

For complete details, see the [documentation](#).

Contact Name:
Email:

[Manage your subscriptions](#)
[Learn more about subscriptions](#)

Thank you,
IBM Cloud

これが【請求処理】画面で適用するFeature Codeです

67938c7bfa4066b7e11dce0d3d071514

IBMのアカウントページ（My IBM）にサインインし、管理者アカウントとして使用するIBM IDの登録内容を確認します。

<https://www.ibm.com/account/jp/ja/>

プロフィールタブを開きます



管理者アカウントとして使用予定のIBM IDが表示されていることを確認します

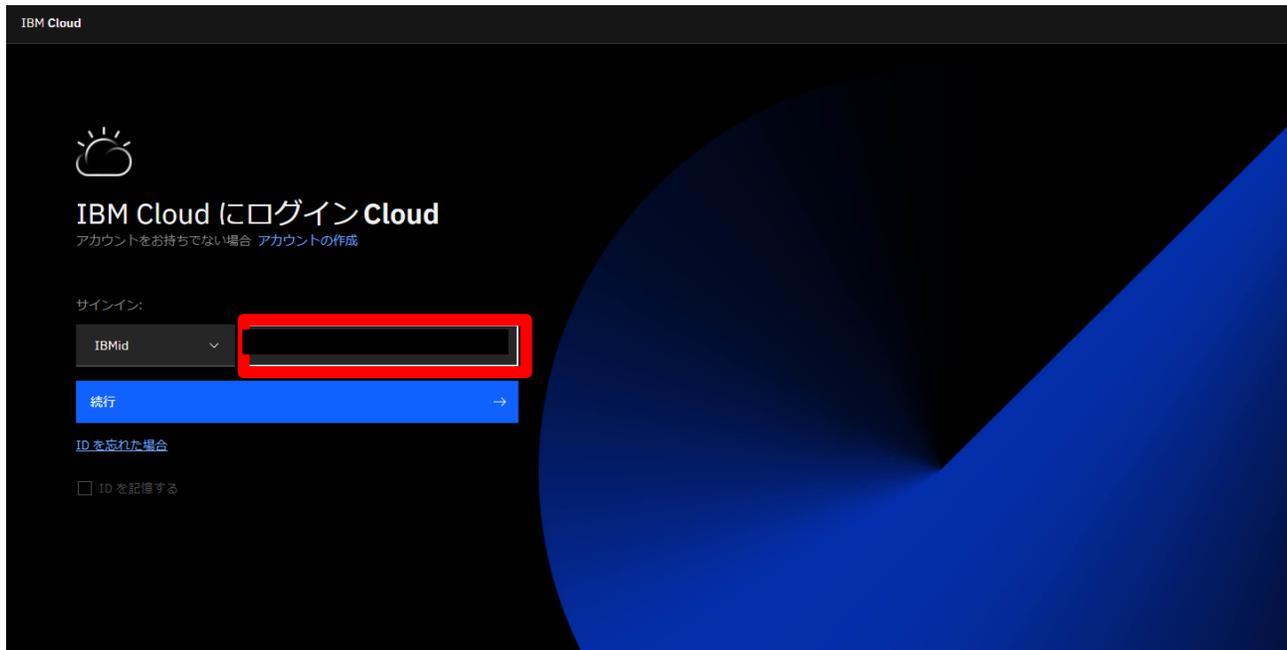
名前に数字等の禁則文字※が使用されていないことを確認します

※禁則文字はP.5をご確認ください
禁則文字が入っている場合は  マークをクリックし修正してください。

（1）メールのリンク または 下記URLよりIBM Cloudへアクセスします

URL : <https://cloud.ibm.com/>

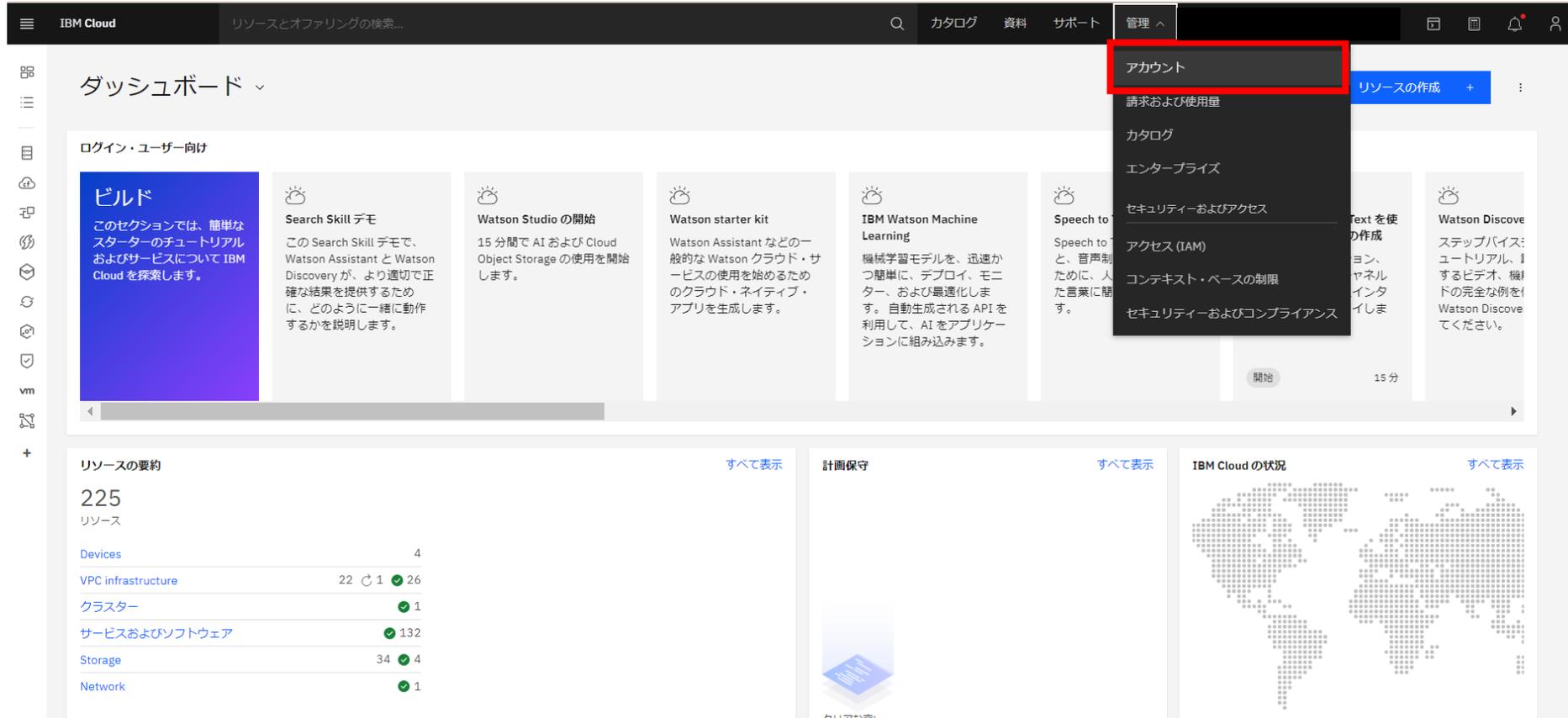
（2）申込書で指定したIBM IDでIBM Cloudへログインします



**ログインに使用した
IDが管理者アカウント
となります。**

管理者アカウントのみユーザーIDの
追加・削除が可能です。
グループアドレスを使用をおすすめいたします。

(3) 画面上部から「管理」>「アカウント」を選択します



(4) 画面左部から「アカウント設定」を選択しフィーチャー（割引）コードのセクションで「コードの適用」ボタンを押下します



（5）メールに記載のFeature Codeを入力し「適用」を押下します



(6) Feature Codeの適用を確認します

アカウント設定

アカウント

アカウントタイプ

サブスクリプション

サブスクリプション・コードおよびフィーチャー・コード

サブスクリプション・コードを適用すると、サブスクリプションを購入したプラットフォームおよびサポートのクレジットが追加されます。フィーチャー・コードによって、ご使用のアカウントに対して IBM Cloud の追加機能がアンロックされます。各コードは 1 回のみ適用できます。 [詳細はこちら](#)

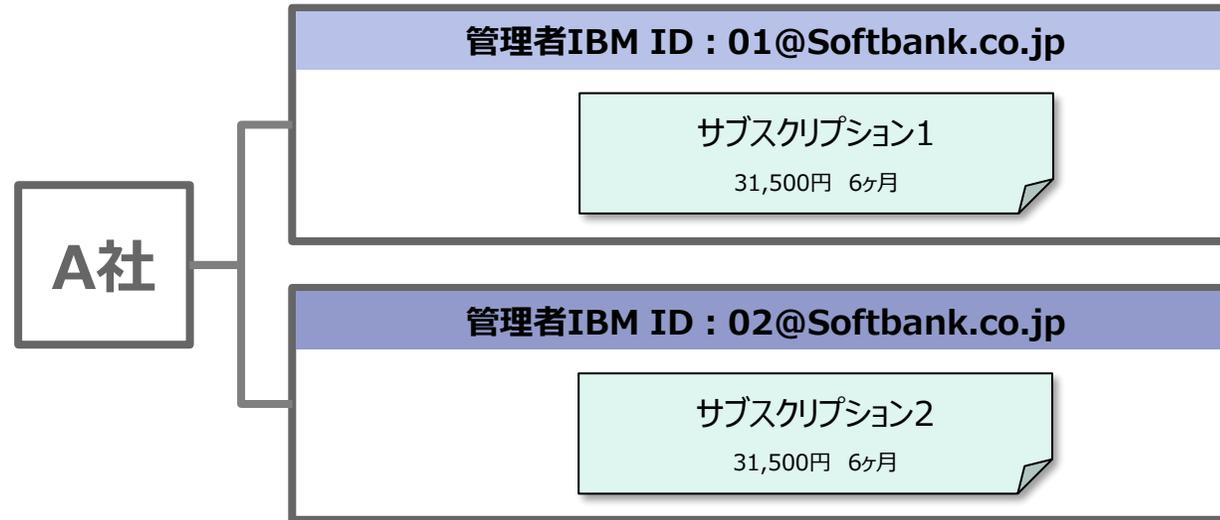
コードの適用

コードID	説明	状況	作成日
812b98631c8f007c1b573b31425afec5	Promo Code For Subscription With Line Item Id 0077406373_10	IN_PROGRESS	7/7/2020



アカウントタイプが「**ライト(無料)**」または「**従量課金(PAYG)**」と表示されている場合や、フィーチャーコードの状況に「**IN_PROGRESS**」以外が表示されている場合は**適用が完了しておりません**。リカバリー対応を行いますので、アカウント設定画面のスクリーンショットを弊社営業担当へ送付してください。

1企業さままで2つ以上のIBM Cloud環境をご利用する場合、管理者となるIBM IDを別にする必要があります。



同じIBM IDに2つ目のサブスクリプションを適用した場合、**環境は別々にならず、サブスクリプションの利用金額が上乗せ**されます。

複数の環境を利用する場合は、管理者用IBM IDをメールアドレスと「姓+名」の組み合わせが**一意となる**ように作成してください。

下記のケースではFeature Codeの適用は不要です。

既存契約で使用している管理者アカウント(IBM ID)に自動的にサブスクリプションが適用されます。

- 1) 継続利用のため契約満了後に再契約する場合
- 2) 契約期間内にサブスクリプションを使いきる事が予想され、超過料金発生回避のために追加契約する場合
- 3) 「自動更新」のご契約の契約更新時



開始日が到来しても、コンソール上更新契約の開始日が反映されない場合は、リカバリー対応を行いますので、アカウント設定画面のスクリーンショットを弊社営業担当へ送付してください。

- ここではサブスクリプション環境へのユーザー追加手順を説明します。
- サブスクリプションが適用された環境を他のユーザーと共有して使用するには、ユーザー追加が必要です。
- 「管理者」と「利用者」の2種類のアカウントがあり、ユーザー追加にはそれぞれのアカウントでご対応いただくことがあります。

管理者	サブスクリプションが紐付いたアカウント
利用者	サブスクリプションが紐付いていないアカウント

ご利用までの流れ

IBM IDの作成



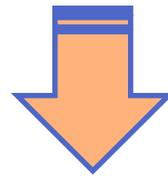
サブスクリプション
の有効化



ユーザー追加

管理者セットアップの流れ

1 IBM Cloudへのログイン



2 ユーザの招待



- (1) <https://cloud.ibm.com> にアクセスし、IBM Cloudにログインします
※サブスクリプションが紐付いたアカウントでログインしてください
- (2) 画面上部のメニューにて[管理]の右にあるアカウントの表示が、「数字 - 会社名」となっていることを確認します

※「数字 - 会社名」になっていない場合はプルダウンメニューから選択します

The screenshot shows the IBM Cloud dashboard interface. At the top, the navigation bar includes the IBM Cloud logo, a search bar, and links for 'カタログ', '資料', 'サポート', and '管理'. The user account '2109542 - SoftBank Corp. DEV' is displayed in the top right corner and is highlighted with a red box. Below the navigation bar, the main content area is titled 'ダッシュボード' and contains several tiles for getting started with various services like Watson Discovery, Smart Document Understanding, Visual Recognition, and IBM Cloud Shell. At the bottom, there are summary cards for 'リソースの要約' (227 resources), '計画保守' (1 event), and 'IBM Cloud の状況'.

(1) 画面上部から「管理」>「アクセス (IAM)」を選択します

The screenshot shows the IBM Cloud dashboard interface. At the top right, the '管理' (Management) menu is open, and the 'アクセス (IAM)' option is highlighted with a red box. The dashboard content includes a 'ダッシュボード' (Dashboard) section with various tiles for 'ビルド', 'Watson Discovery', 'Smart Document Understanding', 'Visual Recognition', and 'IBM Cloud シェルの探索'. Below this, there are summary cards for 'リソースの要約' (Resource Summary) showing 227 resources, '計画保守' (Planned Maintenance) with 1 event, and 'IBM Cloud の状況' (IBM Cloud Status).

リソース	数
Devices	4
VPC infrastructure	22
クラスター	1
サービスおよびソフトウェア	133

(2) 画面左部から「ユーザー」を選択し、「ユーザーの招待」を押下します

The screenshot displays the IBM Cloud IAM console interface. On the left sidebar, the 'ユーザー' (Users) menu item is highlighted with a red box. The main content area shows the 'ユーザー' (Users) page. The '表示' (Display) dropdown is set to 'アカウント・ユーザー' (Account・User). The table below shows a list of users, all with a status of '保留中' (Pending). The 'ユーザーの招待' (Invite User) button is highlighted with a red box.

ユーザー	Eメール	状況
		保留中

(3) 「E メール・アドレス」欄に追加したいユーザーのアドレスを入力します

ユーザー / ユーザーの招待

E メール・アドレスを入力してください

最大 100 個の E メール・アドレスを、コンマ、スペース、または改行で区切って入力してください。

E メール・アドレスが少なくとも 1 つ必要です。

アクセス・グループへのユーザーの追加

1 つ以上のアクセス・グループにユーザーを追加します。ユーザーは、管理のアクセス権限を持つアクセス・グループにのみ割り当てることができます。

ユーザーへのアクセス権の割り当て

アクセス権限のレベルに応じて、Cloud Foundry 役割、クラシック・インフラストラクチャー許可、および IAM アクセス・ポリシーを割り当てることができます。デフォルトでは、トラステッド・プロファイルを適用するユーザーには、サポート・ケースを表示、作成、または管理するためのアクセス権限がありません。

アクセス・サマリー

サマリー API >

0	0	0
ユーザー	アクセス・グループ	割り当て

アクセス権限は追加していませんが、それでも問題ありません。依然としてユーザーをアカウントに招待することはできません。

招待 キャンセル

(4) 「AM サービス」にて権限を設定し、権限を設定し完了したら「招待」ボタンをクリックします。(下は設定例)

【管理者】
サービスの機能をすべて利用できる役割です (具体的な権限の内容はサービスによって異なります)

【リソース】
プラットフォーム全体のリソースについて、権限を設定します

【エディター】
インスタンスの作成や削除ができる役割です



本スライドでご案内しているのは設定の一例です。各権限の詳細や、ユーザーやユーザーのグループごとに付与する権限を変えるなど高度な設定が必要な場合は、Appendixをご参照ください。

- (5) 「ユーザー」画面内の一覧に招待ユーザーが表示されることを確認します一覧に表示されない場合は、「表示」欄のメニューで組織を指定します

IBM Cloud

リソースとオファリングの検索...

カタログ 資料 サポート 管理 2109542 - SoftBank Corp. DEV

ユーザー

ユーザー・グループを選択してユーザー・リストの表示を変更するには表示オプションを使用します。アクセス権限に応じて、アカウント・レベルでグループ化されたユーザー、Cloud Foundry 組織別にグループ化されたユーザー、または、クラシック・インフラストラクチャー・アクセス権限のユーザー階層によってグループ化されたユーザーが表示される可能性があります。

表示:

組織の詳細を表示して、スペース、ドメイン、割り当て量を管理します。

VPN 専用ユーザーの追加 +

ユーザー	Eメール	状況	
IBM Cloud 運用チーム	所有者	自分自身	アクティブ

利用者セットアップの流れ

1 招待メールの確認



2 IBM Cloudアカウント登録

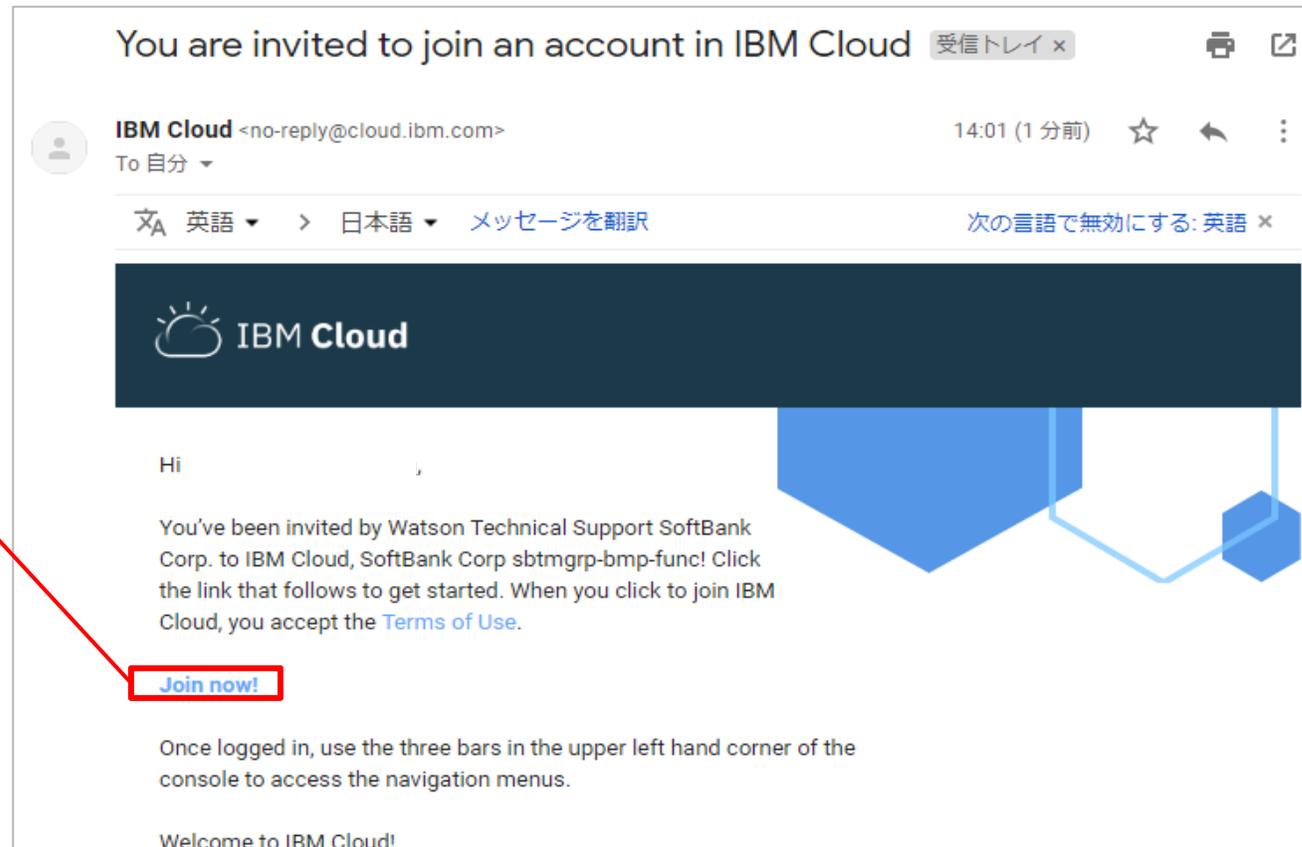


3 ログイン確認



招待メールが届いていることを確認し「Join now!」をクリックします
※IBM CloudのID作成が完了している場合、メールは届かないため「STEP3」へ

クリック



登録フォームの各項目に入力し、「アカウントに参加」ボタンを押下します

IBM Cloud

IBM Cloudに参加

もう少しで完了です。IBM Cloud アカウントの詳細をすべて入力すると、使用を開始できます。

Eメール

名前*

姓*

国または地域*

日本

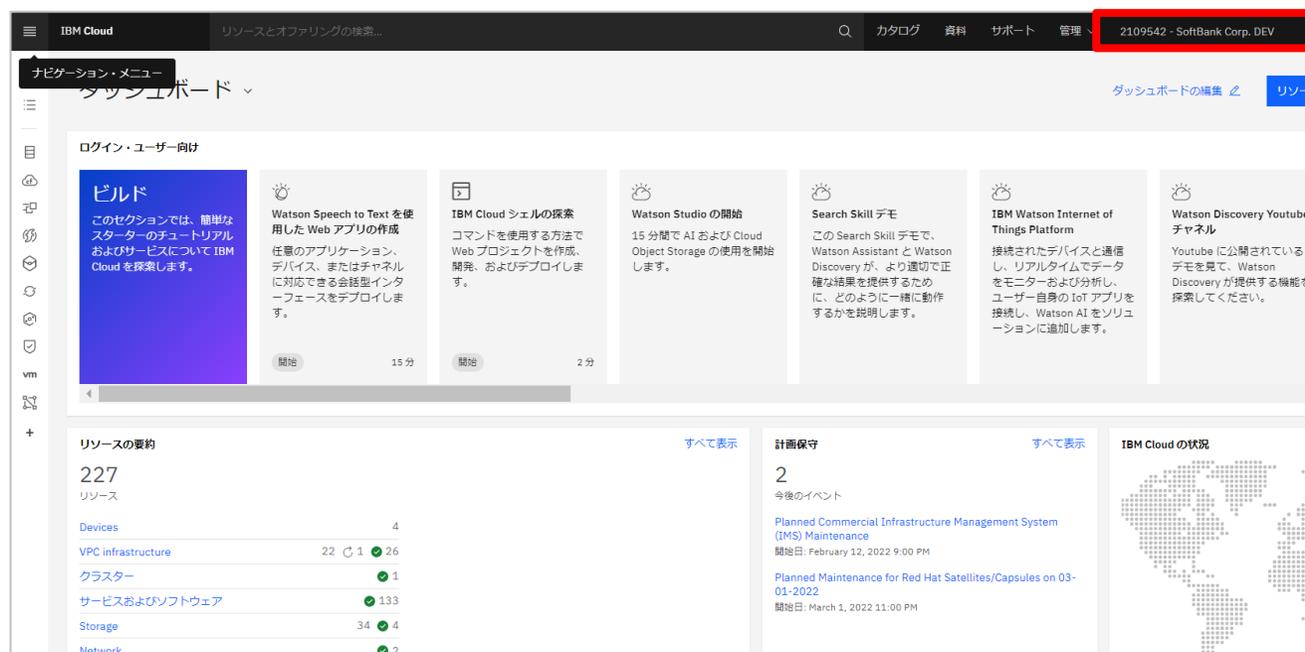
パスワード*

「アカウントに参加」をクリックすると、[IBM Cloud プライバシーポリシー](#)および[IBM Cloud ご利用条件](#)に同意したものと見なされます。

アカウントに参加

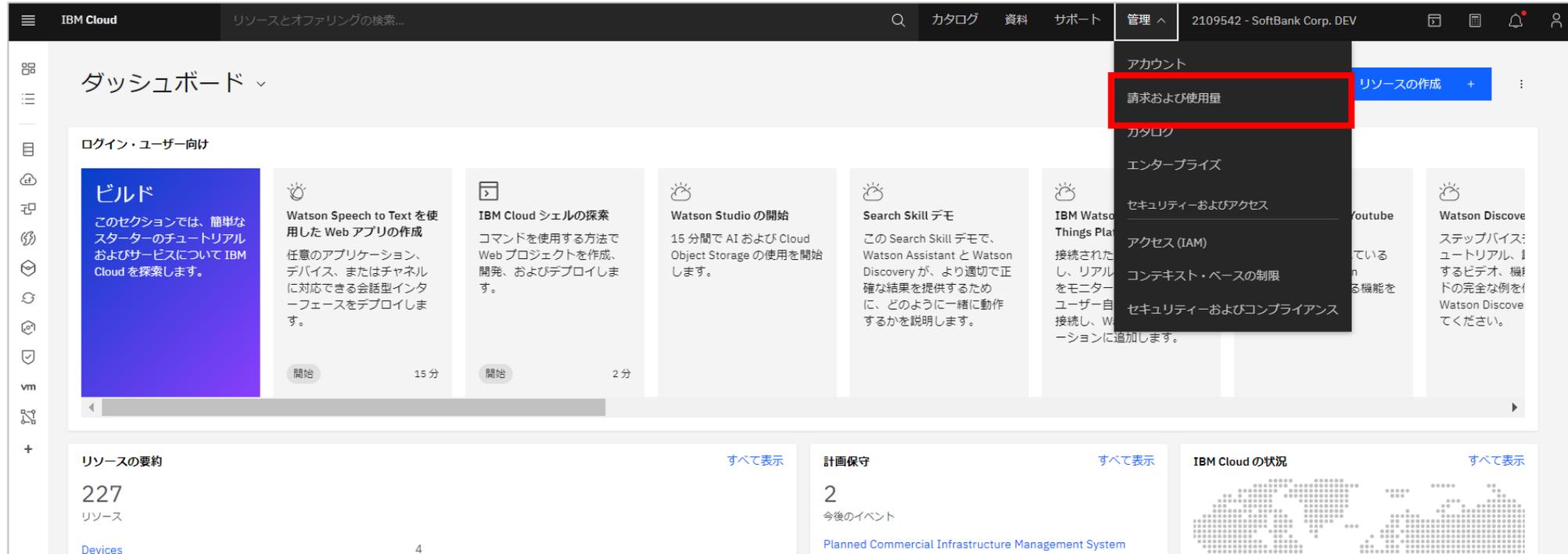


- (1) <https://cloud.ibm.com> にアクセスし、IBM Cloudにログインします
- (2) 画面上部のメニューにて「管理」の右にあるアカウントの表示が、「数字 - 会社名」となっていることを確認します
※「数字 - 会社名」になっていない場合はプルダウンメニューから選択します



- ・利用料金の確認方法、消費量アラート設定方法をご紹介します。

（1）画面上部から「管理」>「請求および使用量」を選択します



利用料金の確認は、「**管理者（アカウント所有者）**」またはIBM Cloud IAM（Appendix参照）で「**Billingサービスの役割が付与されたユーザー**」が実施できます。

(2) 画面左部から「使用量」を選択します

IBM Cloud 使用量

時間フレーム: 2022年2月 | グループでフィルター: グループの選択

次の送り状の計算
IBM Cloud でのサービス・コスト、クレジット、サブスクリプション、およびその他のコストを使用して、最終的な請求額を見積もります。「[契約とサブスクリプション](#)」ページでサブスクリプションの詳細を表示できます。クレジットについては詳しくは、「[プロモーション](#)」ページに移動してください。

サービス

サービス	コスト	割合
Watson Assistant	¥376,330	72.95%
Internet Services	¥92,403	17.91%
Watson Discovery	¥21,239	4.12%
Natural Language Understanding	¥12,465	2.42%
その他	¥13,470	2.61%

月初来の使用量 ①
¥515,907
これは、2022年2月の見積もり使用量です。特定の料金が翌月の見積もり使用料に表示されることもあります。確定料金は送り状に反映されます。

タイプ	コスト
Watson Assistant	¥376,330



料金は月単位で表示されます。日単位で料金を確認することはできませんのでご了承ください。

- ・契約に関してIBMから送付されるメールをご案内いたします。

開通日の翌月1日頃にライセンス証書がメールで届きます
添付の証書に契約番号が記載されておりますので保管をお願いいたします



宛先：サイト担当者

送信元：IBM Software Group <dswnorpy@us.ibm.com>

件名：【お知らせ】IBM証書のご送付 - ご注文番号:BLMXXXXXXXX

【お知らせ】 IBM証書のご送付 - ご注文番号: BLM XXXXXX
X

**本メールはサーバーより自動配信しています。本メールへの返信はご遠慮ください。

お客様各位

先日ご注文いただきました製品の証書を添付、ご送付申し上げます。

証書にはご注文いただきました製品が明記されています。証書は、対応する支払済み請求書や受領書とともに、IBM による使用許諾範囲または使用権を証明する証憑となります。

この証書は、サイトご担当者様または証書ご担当者様として指定された方にお送りしています。後で参照できるように、添付の証書を印刷または保存されることをお勧めします。

このたびは IBM の製品をご注文いただきありがとうございました。引き続き業界最先端の製品およびサービスをお客様に提供して参ります。

詳細につきましては、IBM 営業担当員にお問い合わせください。

よろしくお願ひ申し上げます。

契約終了の60日前に通知メールが届きます

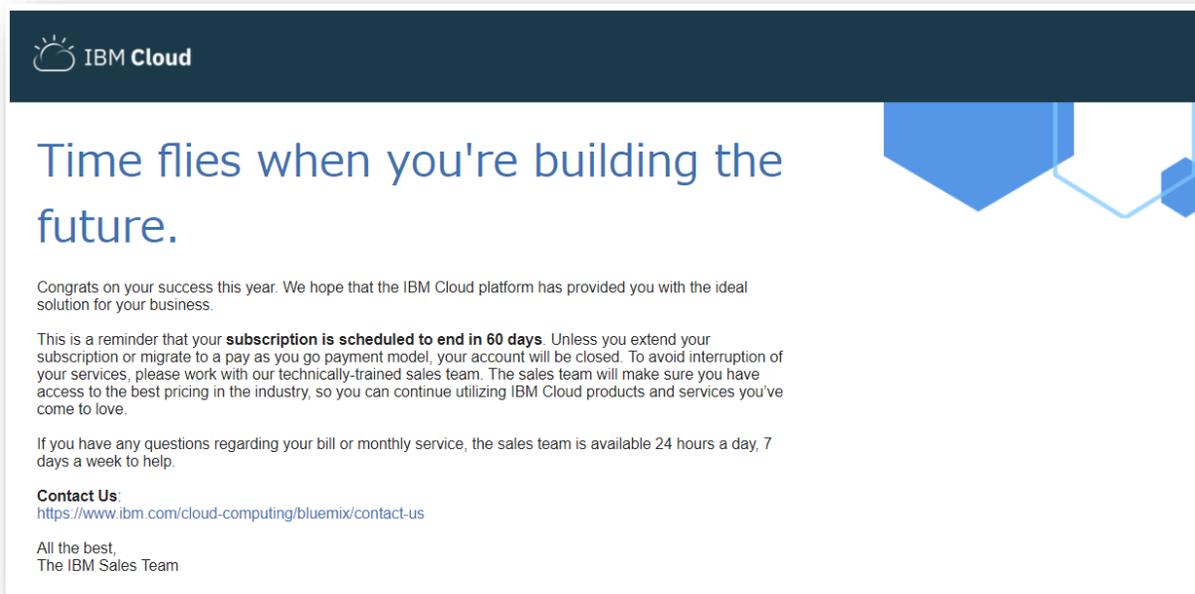
継続利用をご希望の場合は、弊社営業担当へご連絡ください



宛先：アカウント管理者

送信元： The IBM Cloud Team <po-form@bluemix.net>

件名： 60 Day(s) until Subscription end



Appendix

- ▶ ①ユーザー管理方式について
- ②IAM による管理
- ③Cloud Foundryによる管理

IBM Cloudにおける認証や権限の管理方式は、「Cloud Foundry」から「IBM Cloud IAM」という仕組みに徐々に移行しております。

従来の管理方式

**Cloud
Foundry**

オープンソースのソフトウェアベース

新しい管理方式

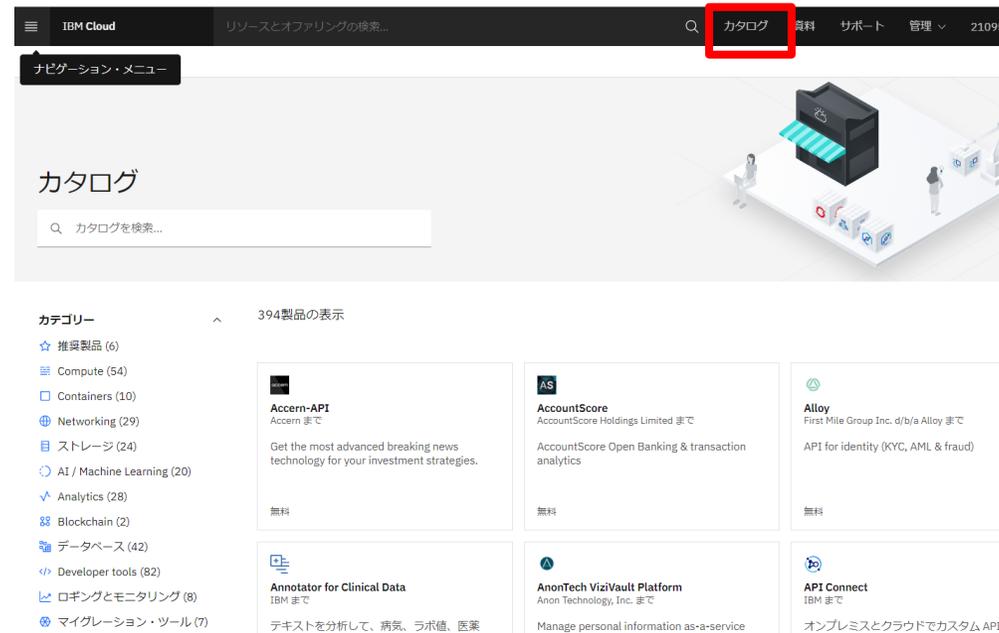
**IBM Cloud
IAM**

IBM独自の方式

現在は2つの管理方式が混在する状況です。利用するサービスの組み合わせによっては両方の設定が必要な場合もございます。

※ Watsonサービスにつきましては、すべて「IBM Cloud IAM」へ移行済みです。

各サービスが「Cloud Foundry」、「IAM」のどちらの方式で管理されるかは、サービスインスタンスを作成する画面で判断ができます。



サービスインスタンスを作成する画面には、上部メニューから「カタログ」ページを表示し、作成したいサービスのタイルをクリックすることでアクセスできます。

「IAM」の方式で管理されるサービスは、サービスの作成画面で「リソース・グループ」を選択するようになっています。



「Cloud Foundry」の方式で管理されるサービスは、サービスの作成画面で「組織」と「スペース」を選択するようになっています。



Appendix

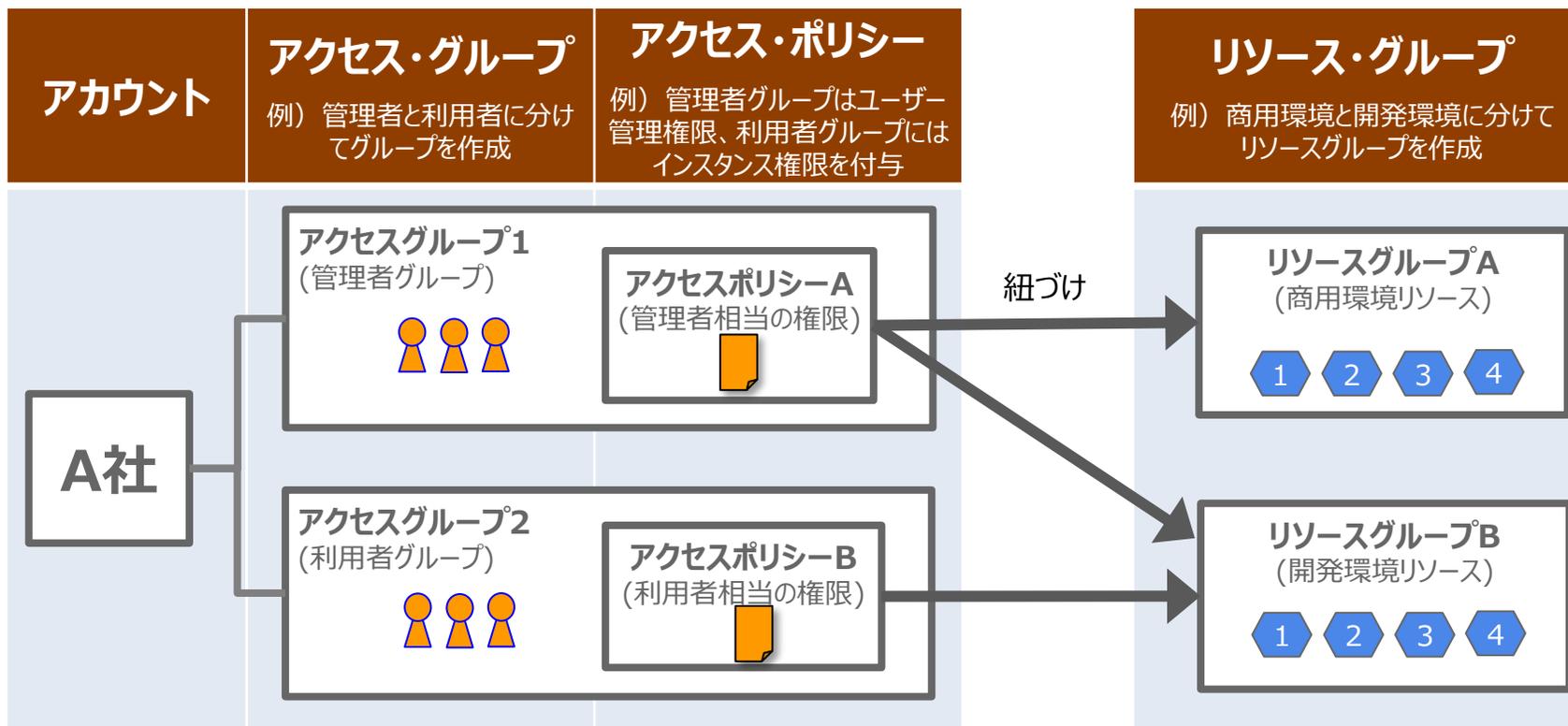
①ユーザー管理方式について

▶ ②IAM による管理

③Cloud Foundryによる管理

ユーザーの権限は、アクセスグループとリソースグループにより管理します。
ユーザーの部署や業務に応じて、権限とアクセス可能なリソースを制限することができます。

■ IBM Cloud Identity and Access Management (IAM)



各種概念や権限の詳細については先のリンク先をご確認ください

<https://cloud.ibm.com/docs/account?topic=account-account-services&locale=ja&interface=ui>

The screenshot shows the IBM Cloud documentation page for account management services. The page title is "アカウント管理サービスへのアクセス権限の割り当て" (Assigning Access Permissions to Account Management Services). The page includes a navigation menu on the left, a breadcrumb trail, and a main content area with a list of steps for assigning permissions. A warning message at the top indicates that the latest information is not yet translated into Japanese.

IBM Cloud 製品 ソリューション 料金設定 資料 サポート 詳細を探索

アカウント、リソース、およびアクセス権限の管理

最新情報の翻訳はまだ公開されていません
このページの最新情報の翻訳はまだ公開されていません。最新の情報は、この文書の英語版を参照してください。

UI CLI API

アカウント管理サービスへのアクセス権限の割り当て

最終更新日: 2021-11-04

アカウント所有者またはアカウント管理サービスの管理者は、アカウントへのユーザーの招待、請求および使用量の追跡、およびサポート Case の処理を実行するためのアクセス権限をユーザーに付与することができます。アカウント管理アクセス権限ポリシーを持つユーザーは、サービス ID、アクセス・ポリシー、カタログ項目、およびアクセス・グループを管理することもできます。

アカウント管理サービスのアクセス権限に対するポリシーの作成

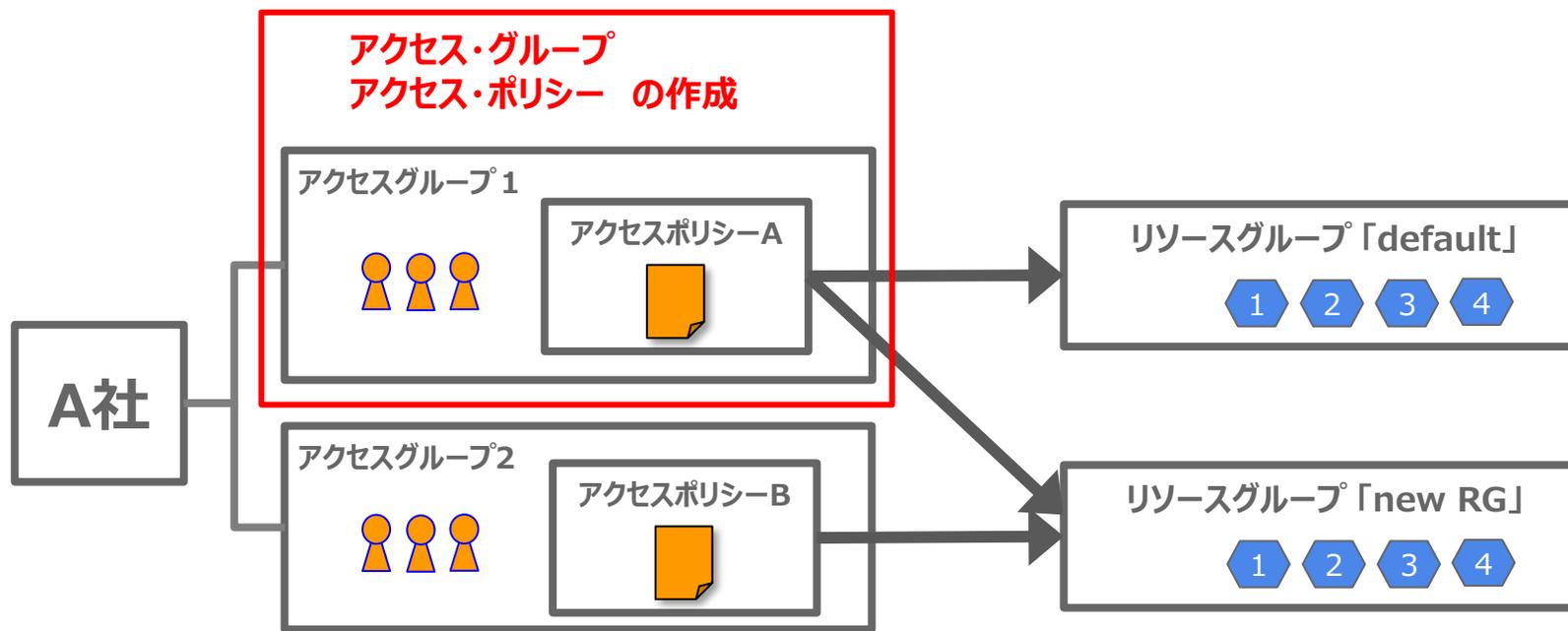
コンソールでのアクセス権限の割り当て

1 つまたはすべてのアカウント管理サービスへのアクセス権限を割り当てるには、以下のステップを実行します。

- IBM Cloud* コンソールで**「管理」**> **「アクセス (IAM)」をクリックして、「ユーザー」**を選択します。
- アクセス権限を割り当てるユーザーの行から、**「アクション」**アイコン...> **「アクセス権限の割り当て」**をクリックします。
- **「ユーザーへの追加のアクセス権限の割り当て」を選択して、「アカウント管理」**を選択します。
- アクセス権限に対して、**「すべてのアカウント管理サービス」**を選択するか、特定のアカウント管理サービスを選択します。
- アクセス権限のスコープを定義するために役割または許可を任意に組み合わせで選択し、**「追加」**をクリックします。
- **「割り当て」**をクリックします。

ヒント: ユーザー・アクセスとすべての IAM 対応アカウント・リソースの管理を行う目的で、別のユーザーにアカウントへの全アクセス権限を付与するには、2 つのポリシーを割り当てする必要があります。1 つ目のポリシーを作成するには、**「IAM サービス」オプションを使用し、「アカウント」を対象として「すべての ID およびアクセス対応サービス」を選択し、「管理者」プラットフォーム役割と「管理者」サービス役割を指定します。2 つ目のポリシーを作成するには、「アカウント管理」オプションを使用し、「すべてのアカウント管理サービス」**を選択して「管理者」役割を割り当てます。

次スライド以降でご案内する設定の内容は下図の通りです
同じ権限を付与するユーザーのグループ（アクセス・グループ）を作成し、そこに権限（アクセス・ポリシー）を設定します



設定例：アクセス・グループの作成（2/4）

(1) 画面上部から「管理」>「アクセス (IAM)」を選択します



(2) 画面左部から「アクセス・グループ」を選択し「作成」ボタンを押下、立ち上がるダイアログでアクセス・グループを作成します



(3) アクセス・グループに名前を付けます。

アクセス・グループの作成

名前 ①

AG-test-1

説明

キャンセル 作成

(4) 「ユーザー」タブにて「ユーザーの追加」を押下します

IBM Cloud リソースとオフラインの検索... カタログ 資料

グループ / AG-test-1

ユーザー サービスID アクセス・ポリシー 動的ルール

グループにはユーザーが割り当てられていません。

ユーザーの追加 +

（４）対象のユーザーを選択し「グループに追加」を押下します

リソースとオファリングの検索...

グループ / グループの管理 / AG-test-1 グループへのユーザーの追加

グループに追加できるユーザーのリストを次に示します。

1 項目が選択されました

グループに追加 | キャンセル

<input type="checkbox"/>	ユーザー	Eメール	状況
<input checked="" type="checkbox"/>			保留中
<input type="checkbox"/>			保留中

（1）「アクセス・ポリシー」タブへ移動し、「アクセス権限の割り当て」をクリック



（2）「IAMサービス」を選択



（3）アクセス・グループに割り当てる権限にチェックを入れ、「追加」をクリックしアクセス・ポリシーを設定します

すべてのIDおよびアクセス対応サービス x ▾

このオプションは、追加された新規サービスに自動的にアクセス権限を付与します。

アクセス権限の範囲の指定

すべてのリソース 選択された属性に基づくリソース

プラットフォーム・アクセス ①

<input type="checkbox"/> ビューアー	ビューアーは、サービス・インスタンスを表示できますが、それらを変更することはできません。
<input type="checkbox"/> オペレーター	オペレーターは、サービスのダッシュボードの表示など、サービス・インスタンスを構成および操作するために必要なプラットフォーム・アクションを実行できます。
<input checked="" type="checkbox"/> エディター	エディターは、アカウントの管理とアクセス・ポリシーの割り当てを除き、すべてのプラットフォーム・アクションを実行できます。
<input checked="" type="checkbox"/> 管理者	管理者は、他のユーザーへのアクセス・ポリシーの割り当てを含め、この役割が割り当てられているリソースに基づいてすべてのプラットフォーム・アクションを実行できます。

サービス・アクセス ①

<input type="checkbox"/> ライター	ライターには、サービス固有のリソースの作成および編集を含め、リーダー役割を超える権限があります。
<input checked="" type="checkbox"/> 管理者	管理者には、サービスで定義されているすべてのアクションを実行する、ライター役割を超える権限があります。

リソース・グループ・アクセス ①

<input checked="" type="checkbox"/> ビューアー	ビューアーは、サービス・インスタンスを表示できますが、それらを変更することはできません。
---	--

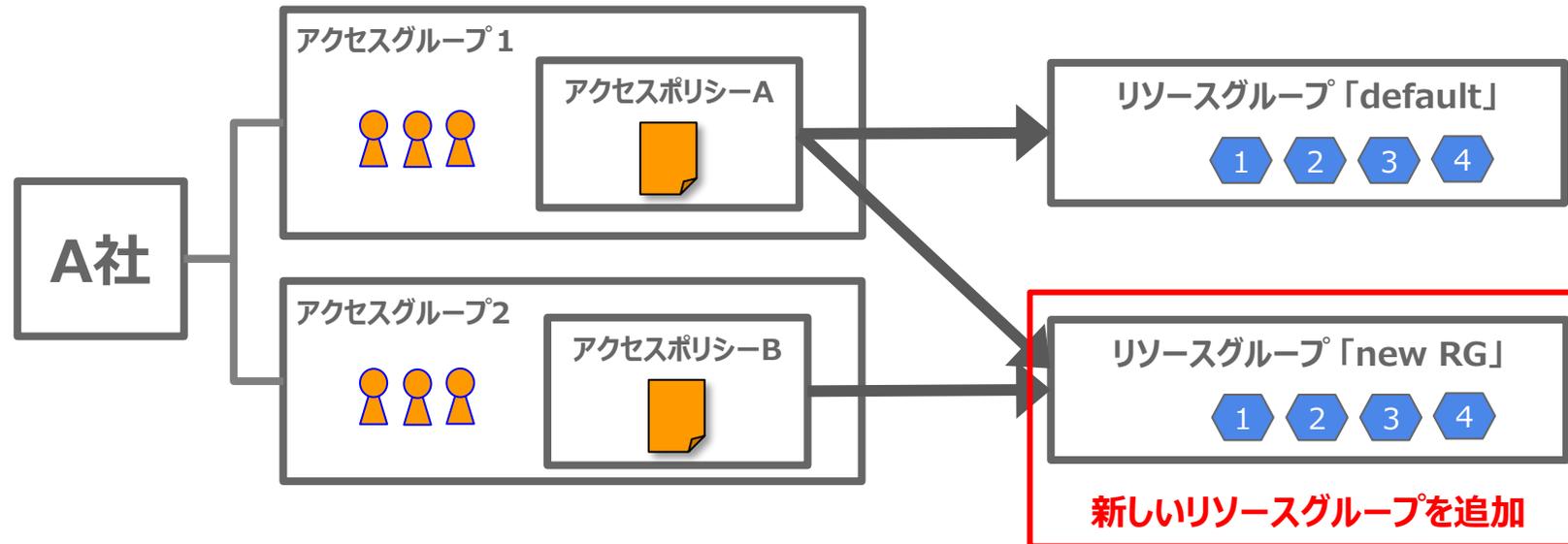
リセット

追加 +

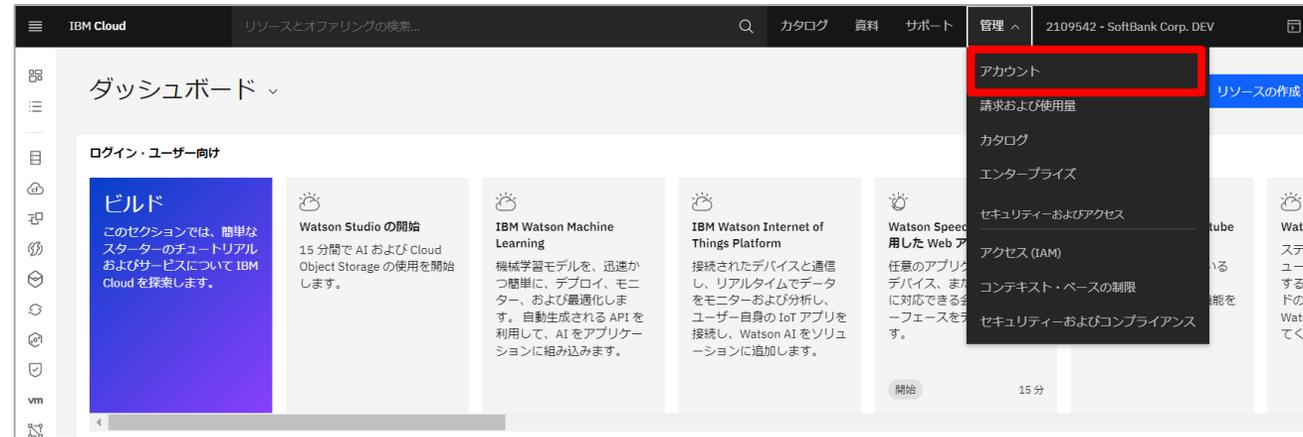
【エディター】
インスタンスの作成や削除ができる役割です

【管理者】
サービスの機能をすべて利用できる
役割です（具体的な権限の内容
はサービスによって異なります）

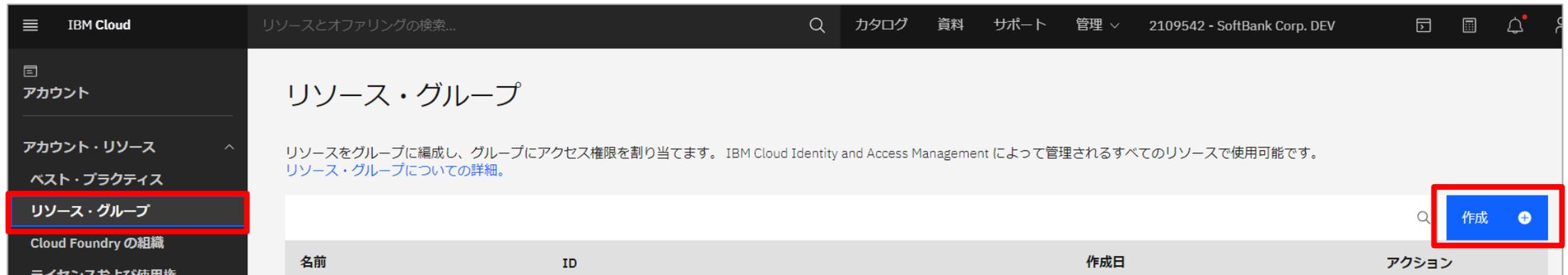
次スライドでご案内する設定の内容は下図の通りです
環境をまとめて管理するリソースグループを作成します



(1) 画面上部から「管理」>「アカウント」を選択します



(2) 画面左部から「リソース・グループ」を選択し「作成」ボタンを押下します



(3) リソース・グループに名前を付けます。



新規リソース・グループの作成

名前

RG-test

キャンセル 作成

(4) ユーザーやアクセス・グループに対してアクセス・ポリシーの作成する際に特定の
リソース・グループに限定した権限を設定することも可能です

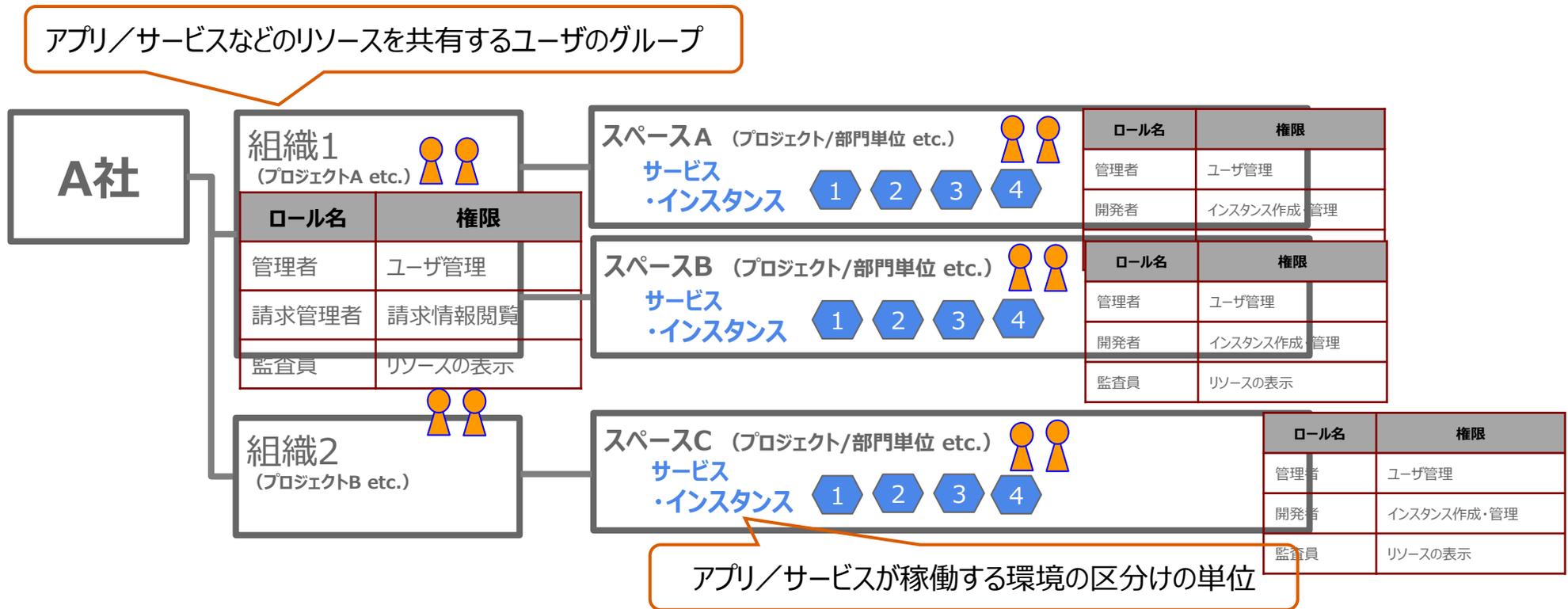
Appendix

①ユーザー管理方式について

②IAM による管理

▶ ③**Cloud Foundry**による管理

IAMをサポートしていないサービスはCloud Foundryでユーザーを管理します
 利用するためには「組織」と「スペース」の作成が必要です



- 「組織」「スペース」「インスタンス」の組み合わせで管理
- 組織、スペース毎にユーザー登録、権限設定

各種概念や権限の詳細については次のリンク先をご確認ください

<https://cloud.ibm.com/docs/account?topic=account-mngcf&locale=ja>

The screenshot shows the IBM Cloud documentation page for 'Cloud Foundry のアクセス権限の管理'. The page includes a navigation menu on the left with categories like 'アカウント、リソース、およびアクセス権限の管理', '製品 UI を開く', 'はじめに', 'チュートリアル', and 'IBM Cloud ダッシュボードのカスタマイズ'. The main content area has a breadcrumb 'IBM Cloud 資料 / アカウント、リソース、およびアクセス権限の管理' and a title 'Cloud Foundry のアクセス権限の管理'. Below the title, it states '最終更新日: 2021-09-24' and provides a brief overview: 'アカウントの組織およびスペースへのアクセス権限を管理するには、アカウント所有者、組織管理者、またはスペース管理者である必要があります。' The page is divided into two main sections: 'Cloud Foundry のアクセス権限の更新' and '組織へのユーザーの追加'. The '更新' section contains a 4-step numbered list: 1. IBM Cloud® コンソールで、「管理」 > **「アクセス (IAM)」をクリックし、「ユーザー」**を選択します。 2. アクセス権限を割り当てるユーザーの名前を選択します。 3. **「Cloud Foundry アクセス権限」**を選択します。 4. アクセス権限を管理する組織の行から、「アクション」...メニューを選択して、以下の3つの選択項目のいずれかをクリックできます。 - 組織からユーザーを削除 - 組織の役割の編集 - 組織の詳細の表示 The '追加' section contains a 4-step numbered list: 1. コンソールで、「管理」 > **「アクセス (IAM)」をクリックし、「ユーザー」**を選択します。 2. アクセス権限を割り当てるユーザーの行から、**「アクション」**アイコン... > **「アクセス権限の割り当て」**をクリックします。 3. **「ユーザーへの追加のアクセス権限の割り当て」**を選択します。 4. **「Cloud Foundry」**タイトルを選択します。

(1) 画面上部から「管理」>「アカウント」を選択します



(2) 画面左部から「Cloud Foundryの組織」を選択し「作成」ボタンを押下、立ち上がるダイアログで組織を作成します



（3）組織名を記入し保存を行う

新規組織の作成

Test-Softbank

キャンセル 保存

（4）作成した組織の右の三点アイコンを押下し、さらに「スペース」を押下します

Cloud Foundry の組織

名前	作成日	スペース	役割	アクション
	2019/9/18	1	管理者	⋮
Test-Softbank	2022/2/2	0	管理者	⋮
	2020/8/26	1	管理者	⋮

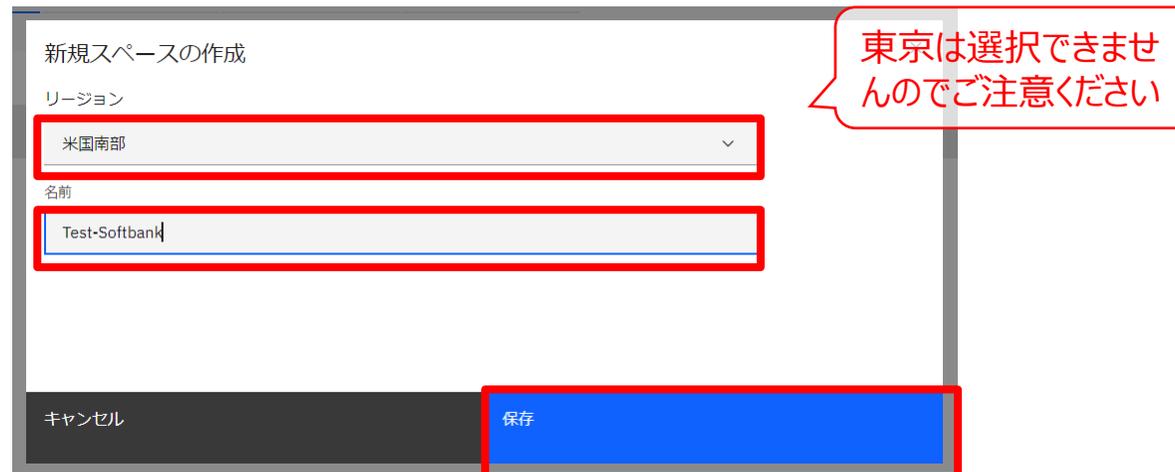
アクションメニュー:

- 名前変更
- スペース
- ユーザー
- ドメイン
- 割り当て量

（5）スペースの追加をクリック



（6）地域を選択、名前を入力し「保存」します



(1) 画面上部から「管理」>「アカウント」を選択します



(2) 画面左部から「Cloud Foundryの組織」を選択します



（3）設定対象の組織名をクリックします



（4）「ユーザー」タブにて役割の変更や、ユーザーの追加を実施します



- (5) 同様に「スペースの権限」を変更する場合は、
「スペース」タブにて変更したいスペースをクリックします



Test-Softbank 

スペース ユーザー ドメイン 情報

名前	リージョン	ID	管理者	作成日
Test-Softbank	米国南部	b972bf20-6235-4ada-8e31-d5b352491f48	✓	2022/

（6）役割の変更や、ユーザーの追加を実施します

Test-Softbank

スペース内のユーザー: Test-Softbank

ユーザー名	管理者	開発者	監査員	アクション
SBTMGRP-ibmcloud_operation@g.softbank.co.jp (アカウント所有者)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text" value="ユーザーの追加または招待"/>

ユーザーの追加ができます

役割の変更ができます

 SoftBank